

1 訓練の目的

市民の災害対応力の向上を目的として、市民全員参加の「おうちで防災訓練」を昨年度に引き続き実施、併せて、各地域等には、地域世帯が掲出する安否情報の確認を必須メニューとしたうえ独自に企画・実施する「地域企画訓練」の二本立てとした。

2 日時

令和6年11月17日（日）午前9時から正午まで

3 訓練の概要

- (1) 「おうちで防災訓練」は市内全域各世帯で実施
- (2) 「地域企画訓練」は小学校区を基本単位に、安否確認及び地域で企画した訓練を実施

4 結果

- (1) 安否確認訓練

安否掲出確認数：3,891軒

令和5年度との比較：R5年度2,994軒、R6年度3,891軒 ⇒ 30%増

- (2) 訓練参加者

まちづくり協議会、自治会連合会、区会、民生委員、関係団体等 約640名参加

5 地域企画訓練の状況（抜粋）

- (1) 市が洞小学校区

避難行動要支援者を救助して担架やリヤカーで避難所まで移送する訓練と、愛知医科大学看護学部による健康チェック、ローリングストックの啓発及び簡易トイレの設営・実演などの訓練が行われた。



(2) 西小学校区

避難行動要支援者の安否確認訓練、有識者（三重大学 川口教授）による防災の講演、豚汁とぜんざいの炊き出し訓練、防災用品の展示が行われた。



6 訓練の振り返り等

市内一斉防災訓練の振り返りを行い、地域や防災会等から訓練に係る課題、意見、及び提案をいただいたことについて、令和7年度以降の防災訓練に活かしたい。

(1) 地域等の感想・意見

- ・避難行動要支援者への対応訓練において、地域の役員と民生委員が関わる機会が持てた。
- ・令和6年度より安否掲出の意識が高かった。
- ・確認率（参加率）が上がった。
- ・地域企画訓練のなかで行われた防災講習会には100名の参加があり、その他に新しい企画を取り入れたことで、想定以上の訓練参加者があった。
- ・地域企業の協力要請を検討してほしい。

(2) 今後の検討

- ・自助力の向上と共助の更なる醸成を目的に、令和6年度と同様、「おうちで防災訓練」と「地域企画訓練」の二本立ての防災訓練を実施する。
- ・地域が主体となって行う「地域企画訓練」における訓練メニューの企画と提案を実施する。

例示

- ・ライフライン関係機関が参加する訓練
- ・消防署や消防団が参加する消防訓練や救助訓練
- ・ペットに対応した避難訓練